

# 三條別院のご案内

真宗大谷派三條別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : saujo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

## 三條別院に想う

▲今回は、お寺の仕事をしながら芸人「堀川ランブ」として活躍している堀川龍志氏に執筆していただきました。

私は僧侶として新潟教区にある自坊の仕事をするかたわら、お笑い芸人としても活動している。ここ二年ほどは、だいたい二週間おきに新潟と東京を行き来しながら、僧侶と芸人二足の草鞋を履いて生活している。

真宗の寺の長男として生まれた私だが、もともお笑いが好きで、大学進学を機に上京し、二〇一七年から「堀川ランブ」という名前で活動し始めた。そして二〇二二年、自坊の仕事を手伝うために新潟に戻って来て今に至る。

自坊に戻る前は一人で紙芝居形式のネタ(※お笑いの用語で「フリップ芸」という)をメインでやっており、一人芸の日本一を決めるR-1グランプリ2021では進々決勝にも進出したことがある。この経験を生かして、門徒さんの前で法話する時などは、キーワードとなる言葉や伝



えたい文言を画用紙に書いておいて、それをめくりながら話を進めるといふ、フリップ芸なら

ぬ「フリップ法話」というものを考えて披露している。この形式は、門徒さん達から見やすくてわかりやすいと評判がいい上、画用紙に書いて順序を決めていく段階で自分の中の仏教思想も整理されて自身の学びにもつながっていると感じている。

伝わりやすさばかりを追求しては本当の意味での真宗のお教えを理解するのに繋がらないのではという指摘もあるかもしれないが、若い世代で寺や仏教への関心が薄まっているとささやかれている現代において「真宗の超初級入門書」のような立ち位置で今後やっていきつつ、自己の学びも深めていければと思っている。このフリップ法話を通じて、一人でも多くの人が仏道の入り口に立つきっかけが作れば、私は嬉しいと思う。

最近、私のように僧侶をやりながら芸人をしていくという人は少なくないということを知り、宗派関係なく同じくらしいの世代で僧侶をやりながら芸人活動をやっている方々を集めてトークライブを行ったりした。宗派ごとの考え方や作法の差異をお互いに学び合えたというのは勿論のこと若い世代から発信していけることも沢山あるはずだからそういう事を沢山やっていきたいという話でイベントが締めくくられた。三條別院では講演会に始まり最近では演劇まで幅広い催しを開催しており、その延長として、いつの日か芸人兼僧侶の自分だからこそで

きる「仏教の世界と一般社会との懸け橋」となるようなイベントを試行錯誤しながらやってみたいと思っている。

堀川 龍志氏 (第十六組浄専寺)



【「フリップ法話」をする堀川氏】

○次回の「三條別院に想う」は、

西山 郷光氏 (能登教区西勝寺)

よりご執筆いただきます

▲一月一日に発生した能登半島地震により被災された方々に衷心よりお見舞い申し上げます。元駐在の西山氏が住職を勤める西勝寺(石川県珠洲市)の本堂が倒壊して煙を巻き上げる様子はテレビで何度も放送され、事務所に来られた方で西山さんの安否を心配する声も多くありました。西山さんとご家族は無事に避難されているということで、今回は現状を執筆していただけることになりました。

## 宗祖御命日のついで（年頭会）のご案内

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

また、今月は「年頭会」と兼ねるため、座談会をお休みさせていただきますので、ご了承下さい。なお、前日（二十七日）はお逮夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

年頭会は懇親会があるため、出席人数を確認しております。参加される方は二十三日（金）までにご連絡ください。

◆日時 二月二十八日（水）午前十時より

◆会場 三条別院 本堂

◆お勤め（御命日） 日中法要

正信偈 草四句目下

念仏讃 洵三

和讃 回口 次第六首

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

### 藤 藤 藤 信 磨 (三条別院輪番)



▲二月は年頭会で輪番の法話となります。三月からは定例布教の法話講師に引き続き御文一帖目をテーマにお話しさせていただきます。

## 定例法話会のご案内

毎月十三日の闍如上人のご命日にあわせて定例法話会を開催しております。

◆二月～四月の講師

### 福田 学 氏 (第十五組善性寺)

◆講題 「念仏者のしるし」



【お取り越し報恩講での福田氏】

◆日時 二月十三日（火）  
三月十三日（水）  
四月十三日（土）

いずれも午後一時三十分～午後二時三十分

その後三十分ほど座談会

◆会場 三条別院旧御堂

▲新型コロナウイルス感染症からロシア・ウクライナ戦争、能登半島を震源地とする地震と、様々な災害・事件が続ぎ、落ち着かない日々が続いています。こんな時、あらためて腰を据えて仏教を聞いていきませんか。善性寺ご住職の福田学氏に「念仏者のしるし」という講題で全三回でお話しいただきます。

◆今後の講師

五月～七月 富樫 大樹 氏 (第十七組妙音寺)

▲テーマは『教異抄』の本願と宿業についてです

## 別院子ども奉仕団・おてらであそぼうはなまつり

三条別院ではお釈迦様の誕生日（四月八日花まつり）、親鸞聖人の誕生日（四月一日）にあわせて、子ども奉仕団・お誕生法要を毎年開催させていただいております。初めて会う友達と共に、お寺に触れていただくことで、「いのちの大切さ・本当の私」について考えられるような、楽しい奉仕団を目指しております。本年度のスローガンも「**おてらであそぼう はなまつり**」です。ぜひご参加ください。

◆開催日 四月二日（火）～三日（水）

◆対象 現在小学一年生～六年生の方  
（小学新二年生～中学新一年生）

◆会場 三条別院

◆締切 三月八日（金）必着。

◆定員 四十名（先着順）

◆参加費 五千円（当日持参）

◆その他

①詳細については同封のチラシをご覧ください。

②日程中に福島県から保養の子どもたちも参加します。なかよく交流しましょう！

③スタッフも随時募集中です。一緒に奉仕団を盛り上げましょう！



【後ろ姿も凛々しい御誕生仏】



# 声明教室のご案内

三条別院では毎月一回（一月と八月を除く）声明教室が開催されています。

◆昼の部の講習内容：正信偈草四句目下・念仏讃陶三・弥陀成仏のこのかたは次第六首・回向願以此功德。お内仏でのお勤めや、得度考査の内容。

◆夜の部の講習内容：高僧和讃を中心に、講習内容のご要望等にもお答えいたします。中央声明講習会受講予定の方は是非ご受講ください。

◆昼の部（午後三時～五時） ◆講師 別院列座

◆夜の部（午後六時～八時）

◆講師 橘 宗真 氏（第二十組顯了寺）

◆開催日（昼夜共通） 二月十六日（金）

三月十五日（金） 四月十六日（火）

五月十五日（水） 六月十四日（金）

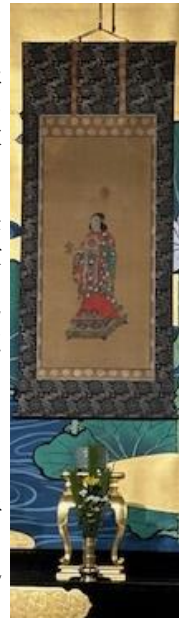
◆その他 詳細は声明教室チラシをご覧ください。

## 【荘厳・儀式コラム】 お荘厳で心掛けたいこと

二月二十一日は聖徳太子の祥月命日です。お荘厳は、『大谷派寺院年中諸法要行事』を見ると「太子の御影を余間の中央に掛け、御影前の卓に打敷をかけ、御花立替、杉形華束一具を備える。（両尊前は荘厳に及ばず）」とあります。そして、勤行の前には燃香、両尊前及び御影前立燭、焼香が行われるわけですが、ここで一つ疑問が生まれます。三条別院において南余間の常の荘厳は四方卓であるため、立燭ができません、焼香もできません。前卓を用意すれば良いのかもしれませんが、それができない場合どうすればいいのか…。

とある同じ条件の御寺院では、御代前の蓮如上

人の隣に太子御影を奉懸し、お勤めしていると聞きしました。なるほど、それならば余間のお荘りが四方卓であっても、作法にできるだけ忠実にお勤めすることができます。しかし、それはアリなのだろうか？…



【四方卓の荘厳】

以前、本山の参衆さんはこのように話されました。本山はこのようにやっている、ということとが様々あるけれども、それぞれの御寺院ごとを抱えている事情が違う。ご崇敬の心がまずもって大切なことなので、それに適うように、各々が創意工夫していただきたい、と。大切なご教示でした。型に捉われ大事なことを見失わないように、常の自戒としたいものです。（廣河）

## 春 彼 岸 予 告

前回お伝えした法話講師（東實行氏）について、講師のご都合により変更になりましたので改めて報告いたします。

二〇二四年の三条別院春彼岸会は二月十七日（日）から十九日（火）まで勤められます。十七日速夜は全戦争犠牲者追悼法会と兼修です。

◆三月十七・十八日 今泉温資氏（往生人舎主室）

◆三月十九日 平出文勇氏（第七組願生寺）

今回の春彼岸会は、三条別院建立のきっかけとなった「願生寺事件」について、今泉氏・平出氏のお二人に昨年十二月に出版されたばかりの『新・願生寺正鑑―先達の願いに生きん―』の内容を中心にお話させていただきます。

## 【列座法話】 節分

毎年、立春の前日にあたる二月四日ころ、「節分」が行われています。旧暦では、立春の前日は大晦日にあたり、かつてはそのころに「節分」が行われていました。元々は中国の宮中で大晦日に行われていた邪気払いに由来し、日本に取り入れられて仏教寺院で修正会に合わせて追儺式として行われるようになったそうです。かつては仏教寺院が「寺院」として国に認めてもらうために国家鎮護の役割を果たさなければならなかったという事情もあり、いつのまにか「節分」が寺院の年間行事として根付いていったといういきさつがあります。ちなみに、五穀には災いを祓う霊力があるという日本人独特の「穀霊信仰」がもとになり、「豆をまく習俗」が一般に定着したのは室町時代という説、追儺式が地方に伝播していく過程で忌み嫌われ排除される鬼だけでなく、家々を祝福するためにやって来る鬼（有名なものが、男鹿半島のなまはげ）も登場していったという説もあるようです。



「節分」について書けば書くほど真宗とは縁遠い行事であることがわかります。あえて言うならば、「豆をぶつけられ排除される鬼を「煩惱」、家々を祝福しにまわる鬼を「鬼神」ととらえることができるでしょうか。

我々は迷い、「煩惱」を抱えた身であり、その「煩惱」を排することなどできぬからこそ阿弥陀様にすべてをお任せする身であります。また、鬼神にしても、都合のいいものにするがろうとするわが身の「煩惱」の現れと言えます。親鸞聖人、蓮如上人が、鬼神に頼るなど言われているのも、「煩惱」を超えたお浄土から阿弥陀様が呼びかけてくださっているのですから、その必要がないということでしょう。（松浦）

## フードバンクを継続中

一月の別院でのフードドライブにご協力いただいた御寺院・御門徒―

中越十一組照覚寺、第二十組誓慶寺、佐渡組専得寺  
その他、匿名含め多くの方々にご協力いただき御礼申し上げます。次回引き取り予定日は二月二十六日(月)です。

## その他の講座案内

### ○別院書道教室(東友会)

【毎月第一、第四水曜日 午後六時三十分〜八時】

講師 木原 光威 氏 (新潟県書道協会理事)

月謝 三,二〇〇円 (テキスト代含む)

### ○有志の会座講「毎月十三日」

ご一緒に別院のお庭を整備していきませんか? 毎月十三日十時から、午後は定例法話を聴聞します。

### ○有志の会花講

花講は別院の立花を、有志の会は別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。

### ○別院奉仕研修について

#### 【奉仕研修冥加金】

一人あたり半日(午前または午後 五百円、一日千円 一泊二日は上記の冥加金に順じて半日五百円で計算する。)

#### 【その他実費でいただくもの】

- ①講師謝礼。なお、列座によるお内仏のお給仕・法話は研修冥加金に含まれる。
- ②シーツ等クリーニング代千円
- ③食事代(要望等ございましたらご相談承ります)。

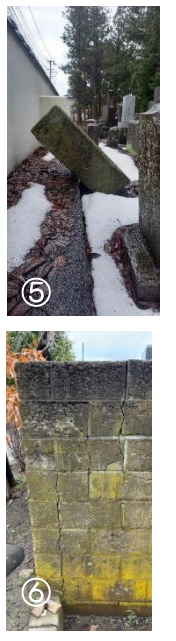
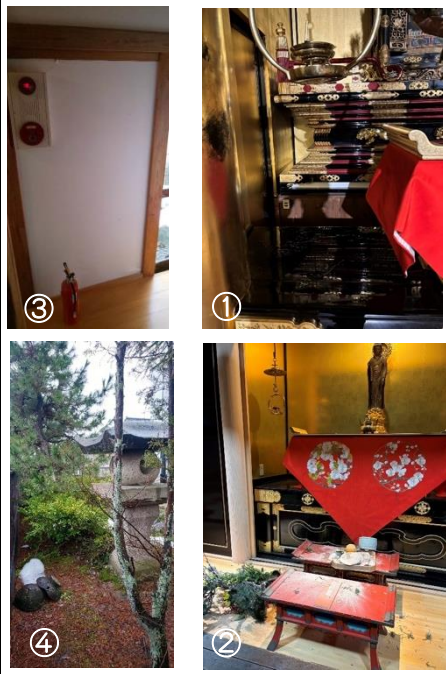
### ○団体参拝及び諸殿拝観について

列座が諸殿拝観などを行います。日程等お気軽にご相談ください。

#### 【雑感】

この度の能登半島地震において、被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。三条市では震度5強を観測し、三条別院でも軽微ながら破損箇所が見られました。本来であれば「雑感」のコーナーですが、三条別院の被災状況(今後追加で報告する可能性もあります)をご報告申し上げます。最後になりますが、皆様の御安全と早期復興を心より念じております。

- ・本堂 (写真1)
- ・祖師前の輪灯油皿から油がこぼれ壇上に付着
- ・旧御堂 (写真2)
- ・花瓶・鶴亀・土香炉が卓から落下
- ・書院 (写真3) 入口付近の白壁にヒビ
- ・参道 (写真4) 石灯籠の上部分が落下
- ・墓地 (写真5) 墓石が一基倒壊
- ・塀 (写真6) 古いブロック塀に亀裂



#### ◆◆編集後記◆◆

この一月一日の地震について、なんとも言いえない印象を感じている。報道にて「緊急車両が通れなくなるので一般のボランティアは性急に行かないで!」と言われ、石川県知事からも同旨の発表がありSNSでは現地に赴いた国会議員を叩く一方で「実際は渋滞など起こっていない」という声も聞かれる。政争? 本当はどうなの? これが現在起こっていること象徴なのだろう。そして今回は石川県だけでなく、ここ新潟県内も多くの被害がでている。だが新潟県内でも、液状化による大被害から、軽微な破損まで、住んでいるところでもまったく異なる被害状況で、感じていることがみんな違う。昨年末私的な勉強会を開いて唯識の「一見四水」が現代哲学の「多自然論」に近いという講義を受けた。「多文化論」は一つの世界をみんながいろいろ解釈しているということだが、実は世界自体が多数であり(一人一つ)、自分の一つの眼の中にその多世界が映っていて何とか調停しているかという事態なのだ。それで私は何を考えればということだ……。今こそ共に、仏教を聞きましよう。定例法話、年頭会、お待ちしております。(齋木)